

(一般屋内用)

誘導灯用信号装置 誘導音+点滅用(1回路)

保管用



品番 FF90024K

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

定格性能

電源電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
【消灯】信号回路/定格容量	AC100V/1A	
【点滅】信号回路/定格容量	DC24V	合計2A
【誘導音】信号回路/定格容量	DC24V	
型式認定番号	S11A-21	
停電補償機能	ニッケル水素蓄電池搭載 停電後20分間(点滅・誘導音信号回路のみ)	
適合誘導灯	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅形誘導灯 ・点滅装置 ・誘導灯(電池内蔵)の消灯 ・誘導音付点滅形誘導灯 ・誘導音付点滅装置 	

基本動作

信号装置	火災信号なし		火災信号を受けたとき	
	通電時	停電時	非常放送なし	非常放送による 停止信号受信時
誘導灯を消灯させる	消灯 <small>(手動操作/施錠/照明連動)</small>	点灯	点灯	
点滅動作を制御する	消灯(停電補償機能)		点滅	
誘導音動作を制御する	停止(停電補償機能)		鳴動	停止

もくじ

工事店様へ【施工説明】

1. 安全・施工に関するご注意……………P. 2
2. 信号装置の組合せ適合機器……………P. 2
3. 各部のなまえと取付けかた……………P. 3
4. 用途別の結線方法
 - (1) 手動スイッチによる消灯……………P. 5
 - (2) 施錠連動又は照明連動による消灯……………P. 5
 - (3) 点滅形誘導灯/点滅装置の結線……………P. 6
 - (4) 誘導音付点滅形誘導灯/誘導音付点滅装置の結線……………P. 6

お客様へ【取扱説明】

5. 安全に関するご注意……………P. 7
6. 操作パネルのなまえと機能説明……………P. 7
7. ご使用方法……………P. 9
8. 使用上のご注意……………P. 10
9. 保証について……………P. 10
10. お手入れ・部品交換……………P. 10
11. 故障かな?と思ったときは……………P. 10
12. 保守・点検の要領……………P. 12
13. 器具定格・基本内部回路図……………P. 12

1. 安全・施工に関するご注意

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意



警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなす。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 信号装置の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 壁面取付専用。他の取付けはしない。落下の原因となります。
- 蓄電池は、短絡・分解等しない。破裂・火傷・感電・火災の原因となります。
- 信号装置を使用する場合は、必ず事前に所轄消防署の承認を得る。



注意

- この器具は一般屋内専用です。直射日光の当たる場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動の強い場所、外の風やエアコンの冷風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- 器具の取り付け、取り外しは手袋などの保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

2. 信号装置の組合せ適合機器

- この誘導灯用信号装置は、下表の機器と組合せて使用ください。

自動火災報知設備・非常放送設備

自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・自動火災報知設備と必ず連動させて使用ください。 自動火災報知設備は無電圧移報端子(b接点)が付いているものを使用ください。 ※無電圧移報端子(b接点)がない場合は、移報装置が必要です。 	(例: 弊社 検定品 受信機P型1級)
非常放送設備	※誘導音を停止させる場合は、誘導音停止用端子(非常放送時ONとなる無電圧a接点)が内蔵されているものをご使用ください。	

適合誘導灯

使用目的	誘導灯を消灯する場合	点滅形誘導灯を設置される場合	誘導音付点滅形誘導灯を設置される場合
適合誘導灯	電池内蔵型誘導灯全般	点滅形誘導灯<電池内蔵型>(信号回路 DC24V)	誘導音付点滅形誘導灯<電池内蔵型>(信号回路 DC24V)

誘導灯を消灯して使用する場合のその他の必要機器

	中継盤	特注品
消灯方式	手動	—
	施錠連動	施錠連動装置 施錠時ONとなる無電圧接点を有するもの。
	照明連動	照明消灯時にONとなる無電圧接点回路構成のものを分電盤に内蔵する。

- この信号装置1台で制御できる誘導灯の最大可能取付台数は、次のとおりです。

消灯制御	信号装置の容量	中継盤取付台数 ^(※1)	分岐回路当りのLED誘導灯(FA20312Cの場合) ^(※2)	消灯できるLED誘導灯(FA20312Cの場合) ^(※3)
手動・施錠(照明)出力	AC100V 1A	50個	432台	21600台
誘導音・点滅制御	信号装置の容量	最大取付台数(FA20331C、FA20337Cの場合) ^(※4)		
点滅信号出力	DC24V	330台		
誘導音信号出力	合計2A	125台		

注)上記使用可能台数は一例ですので、必ず使用する誘導灯の入力電流値で算出してください。

計算方法

※1. 中継盤の取付台数

接続する中継盤の入力電流が20mAの場合

$$\frac{\text{信号装置 } 1\text{A}}{\text{入力電流 } 0.02\text{A}} = 50\text{個まで}$$

※2. 分岐回路当りのLED誘導灯

中継盤の容量が20Aの場合、80%負荷とする。(16A)
 LED誘導灯の入力電流=0.037A(FA20312Cの場合)

$$\frac{\text{中継盤の接点容量 } 16\text{A}}{\text{入力電流 } 0.037\text{A}} = 432\text{台}$$

※3. 消灯できるLED誘導灯の取付台数(※1と※2の結果より算出)

(中継盤の取付台数50個)×(1分岐回路当りのLED誘導灯432台)=21600台

※4. 誘導音及び点滅制御できる誘導灯の取付台数

信号電流の合計が2A(2000mA)まで
 点滅制御:点滅形誘導灯の信号電流=6mA(FA20331Cの場合)

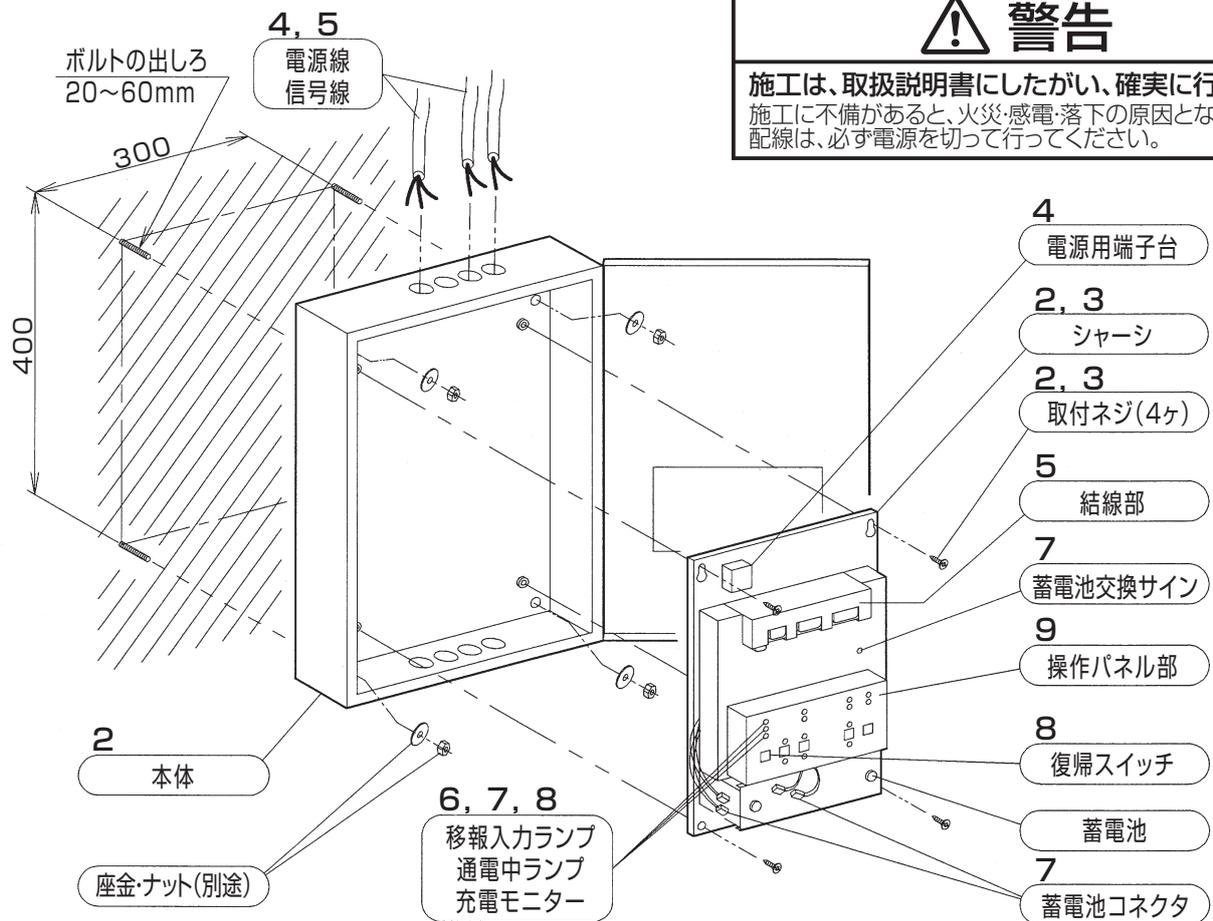
$$2000\text{mA} \div 6\text{mA} \approx 330\text{台まで}$$

 誘導音制御:誘導音付点滅形誘導灯の信号電流=16mA(FA20337Cの場合)

$$2000\text{mA} \div 16\text{mA} = 125\text{台まで}$$

増改築により接続台数を増やす場合また、リニューアルする場合は、合計信号入力電流が定格容量を越えないことを再確認してください。

3. 各部のなまえと取付けかた



1. 取付前の確認

- ・器具質量（約11kg）に十分耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。ボルトはW3/8またはM10を使用する。不備があると器具落下の原因となります。

2. 本体の取付

- ・取付ネジ（4ヶ所）を外し、シャーシを本体から取り外す。
- ・使用する電源穴（ノックアウト）を抜く。
- ・付属の電源プッシングを使用する電源穴に取り付ける。



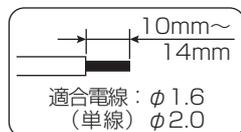
- ・本体を取付ボルトに確実に取り付ける。不備があると器具落下の原因となります。

3. シャーシの取付

- ・シャーシを取付ネジで確実に取り付ける。（4ヶ所）
- ・シャーシのダルマ穴が上側になるように取り付けてください。
- ・不備があると落下・火災の原因となります。

4. 電源線の接続

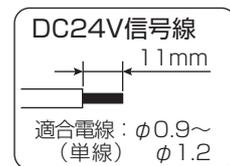
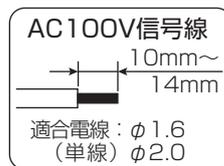
- ・電源線を電源穴から引き込み、電源用端子台に確実に差し込む。端子台容量は20Aです。



接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

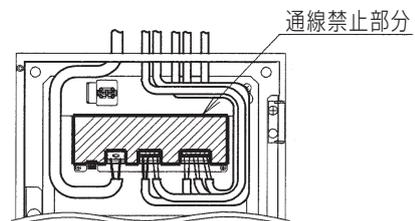
5. 信号線の接続

- ・下記の注意点を確認し、**4.用途別の結線方法**（5～6ページ参照）により接続を行なう。適合する電線径・ムキ代は次のとおりです。



- 注1) 各信号ごとに電圧が異なります。それぞれの電圧をご確認のうえ、適合する電線をご使用ください。また、定格容量もご確認ください。4ページの“結線部のなまえと機能説明”をご覧ください。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

- 注2) 結線部のカバー上部は“通線禁止部分”です。信号線の器具内での線処理は下図の禁止部分を見て線処理を行なってください。扉との間で線噛みし、地絡の恐れがあります。不備があると感電の原因となります。



3. 各部のなまえと取付けかた (つづき)

6. 電源 (AC100V) の投入

- ・通電中ランプ (赤) が点灯します。

7. 蓄電池コネクタの接続

- ・常用電源通電後、蓄電池コネクタを接続する。
- ・方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
- ・充電モニター、蓄電池交換サインが点灯します。

8. 復帰スイッチを押す

- ・移報入力ランプ (赤) が点滅から消灯に変化します。

9. 動作確認

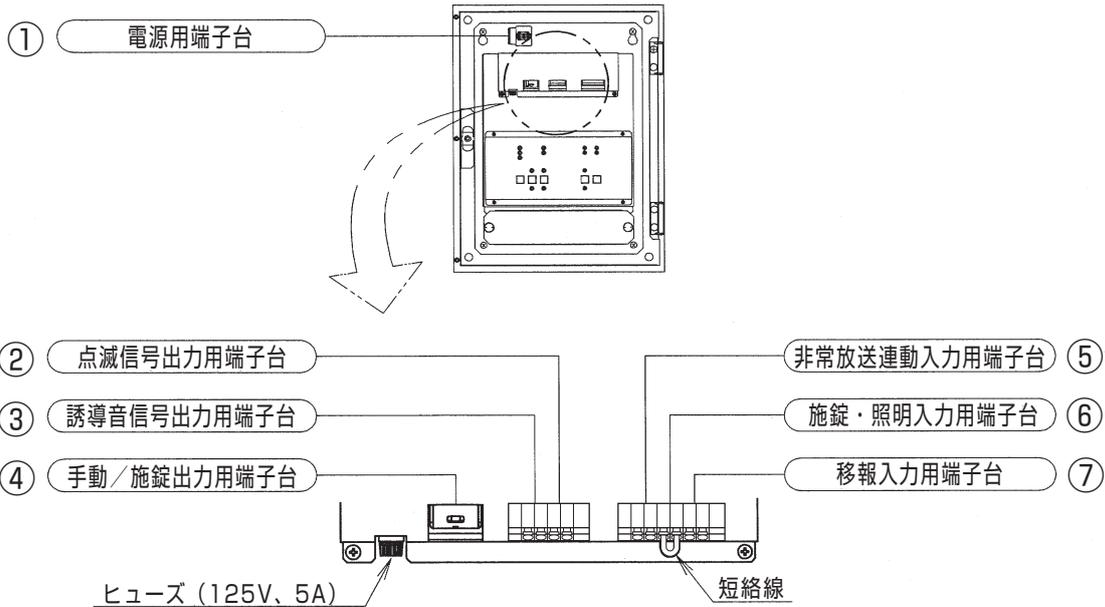
6. 操作パネルのなまえと機能説明

(7~8ページ参照) を参考に動作確認を行なう。

正常に動作しない場合は、**11.故障かな?と思ったときは** (10~11ページ) の項を参照してください。

10. 本体の扉を閉じる

結線部のなまえと機能説明



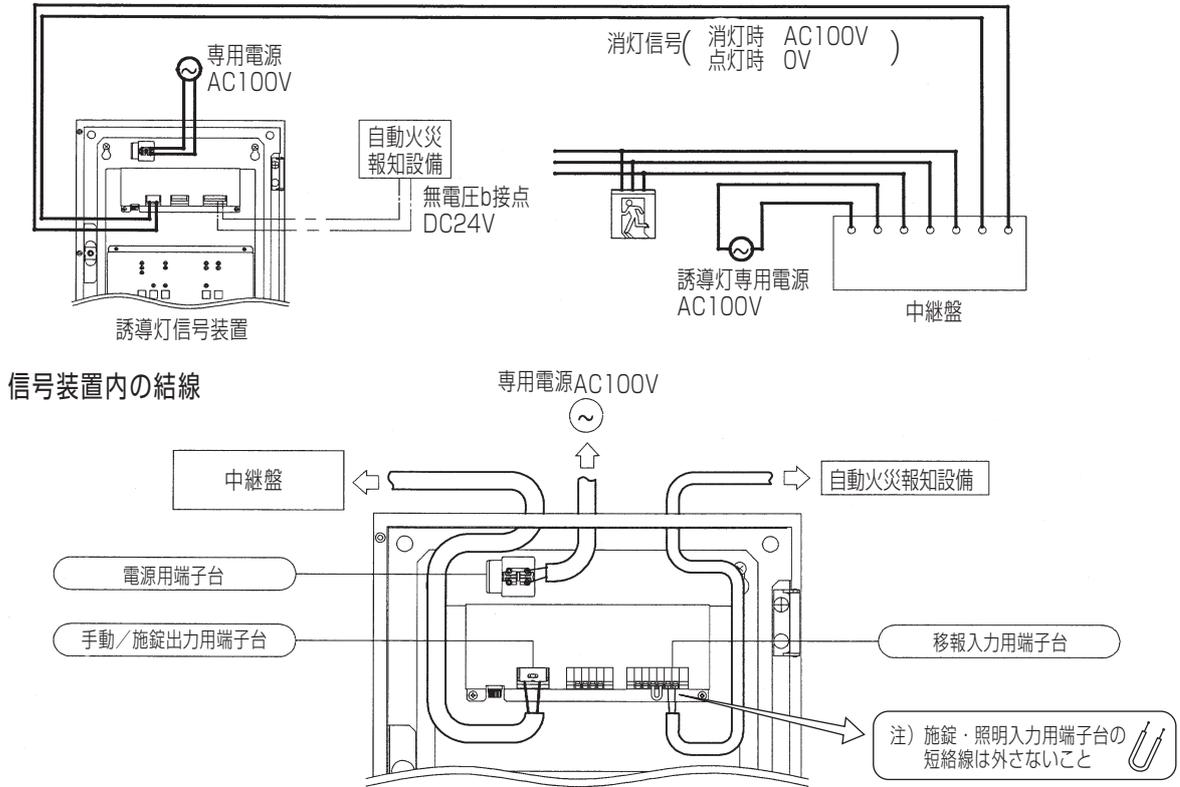
No	端子台名称	機能
①	電源用端子台	誘導灯信号装置の電源線を接続。 入力電圧: AC100V 定格容量: 20A 配線の種類: 一般屋内用配線
②	点滅信号出力用端子台	点滅形誘導灯または、点滅装置を使用する場合の信号出力線を接続。 出力電圧: DC24V 定格容量: 誘導音信号と合わせて2A 配線の種類: 一般屋内用配線
③	誘導音信号出力用端子台	誘導音付点滅形誘導灯または、誘導音付点滅装置を使用する場合の信号出力線を接続。 出力電圧: DC24V 定格容量: 点滅信号と合わせて2A 配線の種類: 一般屋内用配線
④	手動/施錠出力用端子台	施錠 (外部の施錠スイッチ) または、照明連動用装置 (リレー) により誘導灯を消灯させる場合の、中継器への出力信号線を接続。 出力電圧: AC100V 定格容量: 1A 配線の種類: 一般屋内用配線
⑤	非常放送連動入力用端子台	非常放送が行なわれた時に非常放送設備に連動し、誘導音を停止させる場合に、自動火災報知設備からの誘導音停止信号線を接続。 電圧: DC24V 短絡電流: 10mA 配線の種類: 一般屋内用配線
⑥	施錠・照明入力用端子台 (短絡線付)	施錠 (外部の施錠スイッチ) または、照明連動用装置 (リレー) により誘導灯を消灯させる場合の入力信号線を接続。 電圧: DC24V 短絡電流: 10mA 配線の種類: 一般屋内用配線
⑦	移報入力用端子台	自動火災報知設備からの移報用信号線を接続。 電圧: DC24V 短絡電流: 10mA 配線の種類: 耐熱C種配線 (*1)

(*1) 自動火災報知設備と同一の部屋に信号装置が設けられる場合は、一般屋内用配線でも可。

4. 用途別の結線方法

(1) 【誘導灯の消灯】 手動スイッチによる消灯

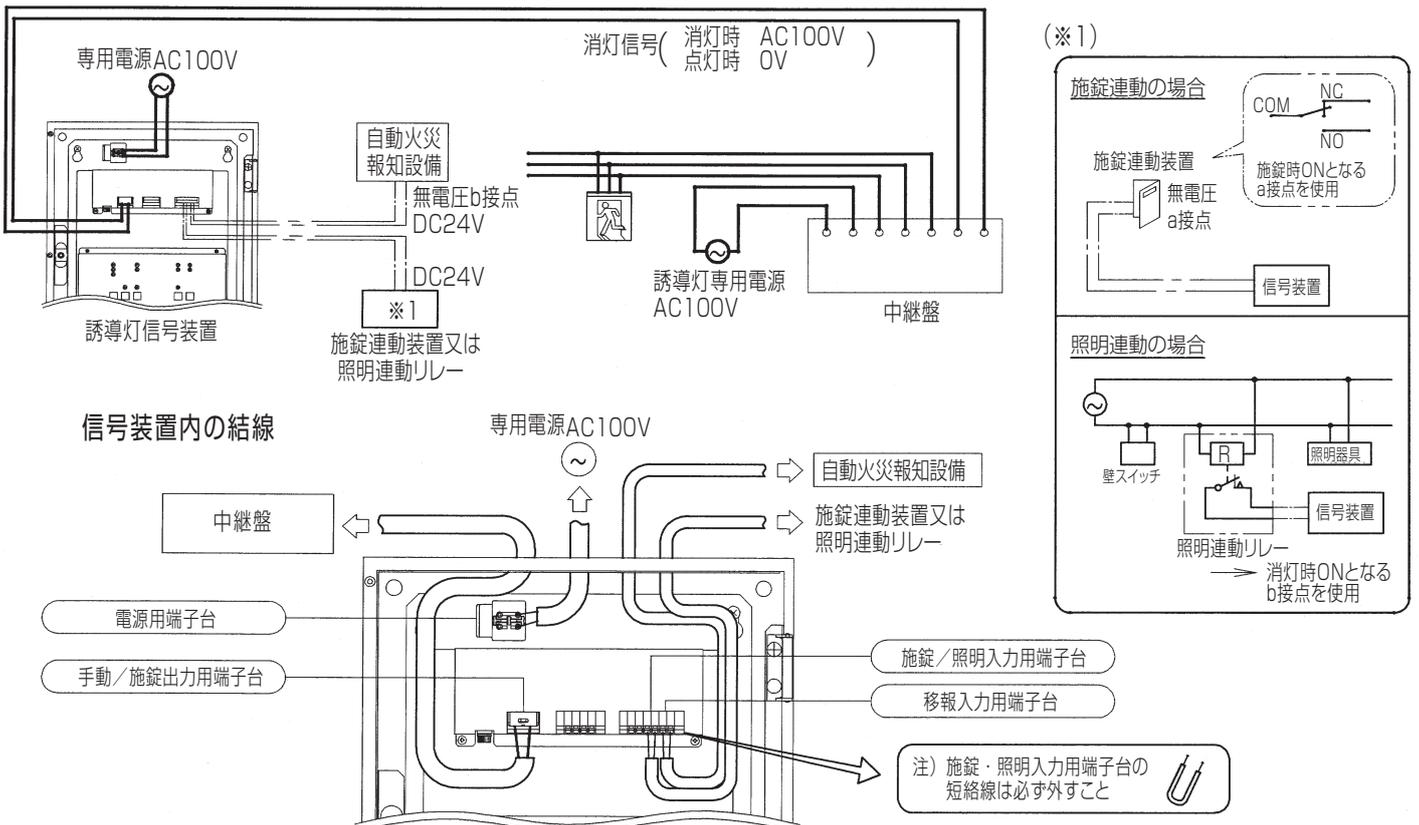
———— : 一般屋内用配線 AC100V
 (VVFφ1.6 またはφ2.0)
 - - - - - : 一般屋内用配線 DC24V
 (CPEV、防災用ケーブルφ0.9 ~ φ1.2)
 ※自動火災報知設備への配線は耐熱配線が必要となる場合があります。



(2) 【誘導灯の消灯】 施錠連動又は照明連動による消灯

(別途、施錠連動装置または照明連動リレーが必要です。
 また、手動スイッチと併用して使用することはできません。)

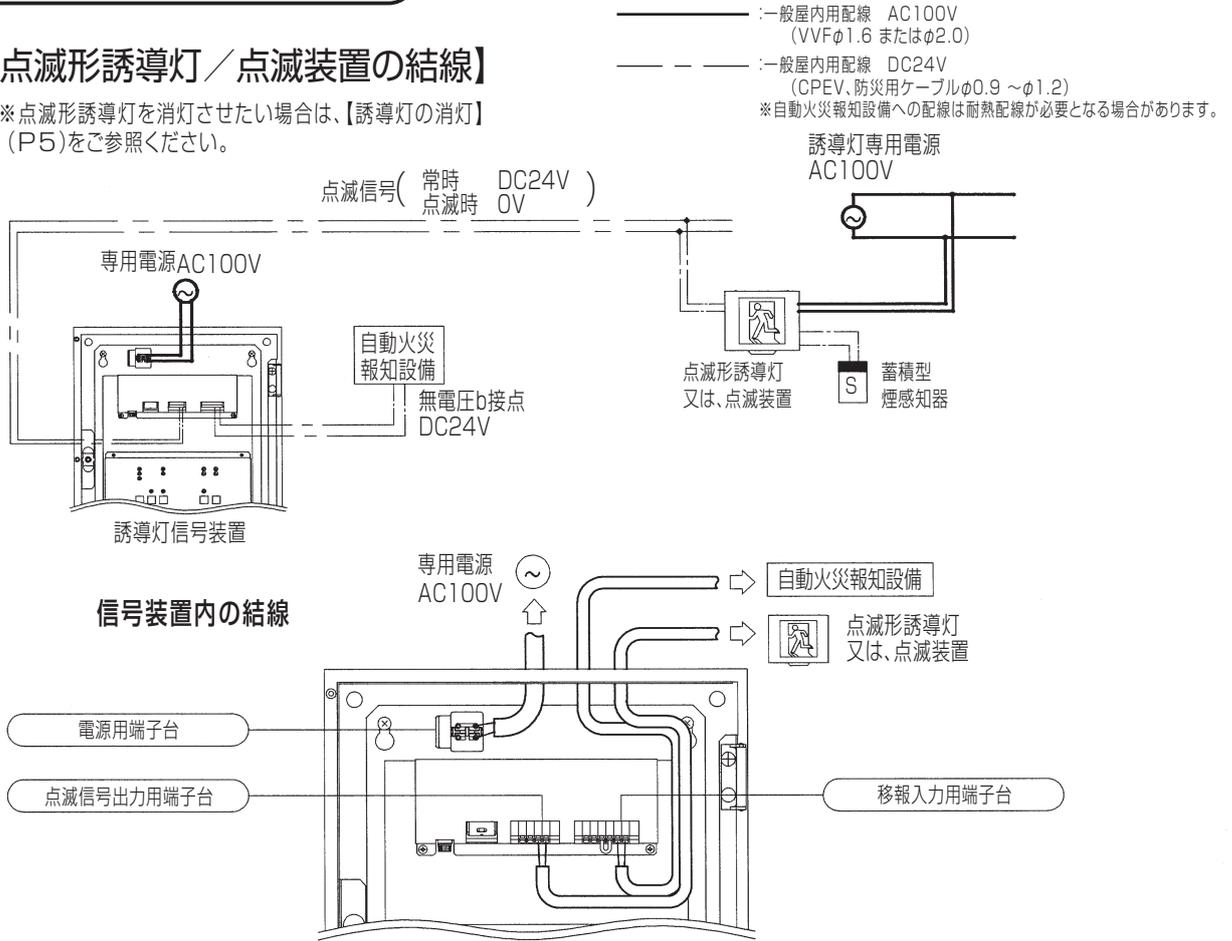
———— : 一般屋内用配線 AC100V
 (VVFφ1.6 またはφ2.0)
 - - - - - : 一般屋内用配線 DC24V
 (CPEV、防災用ケーブルφ0.9 ~ φ1.2)
 ※自動火災報知設備への配線は耐熱配線が必要となる場合があります。



4. 用途別の結線方法 (つづき)

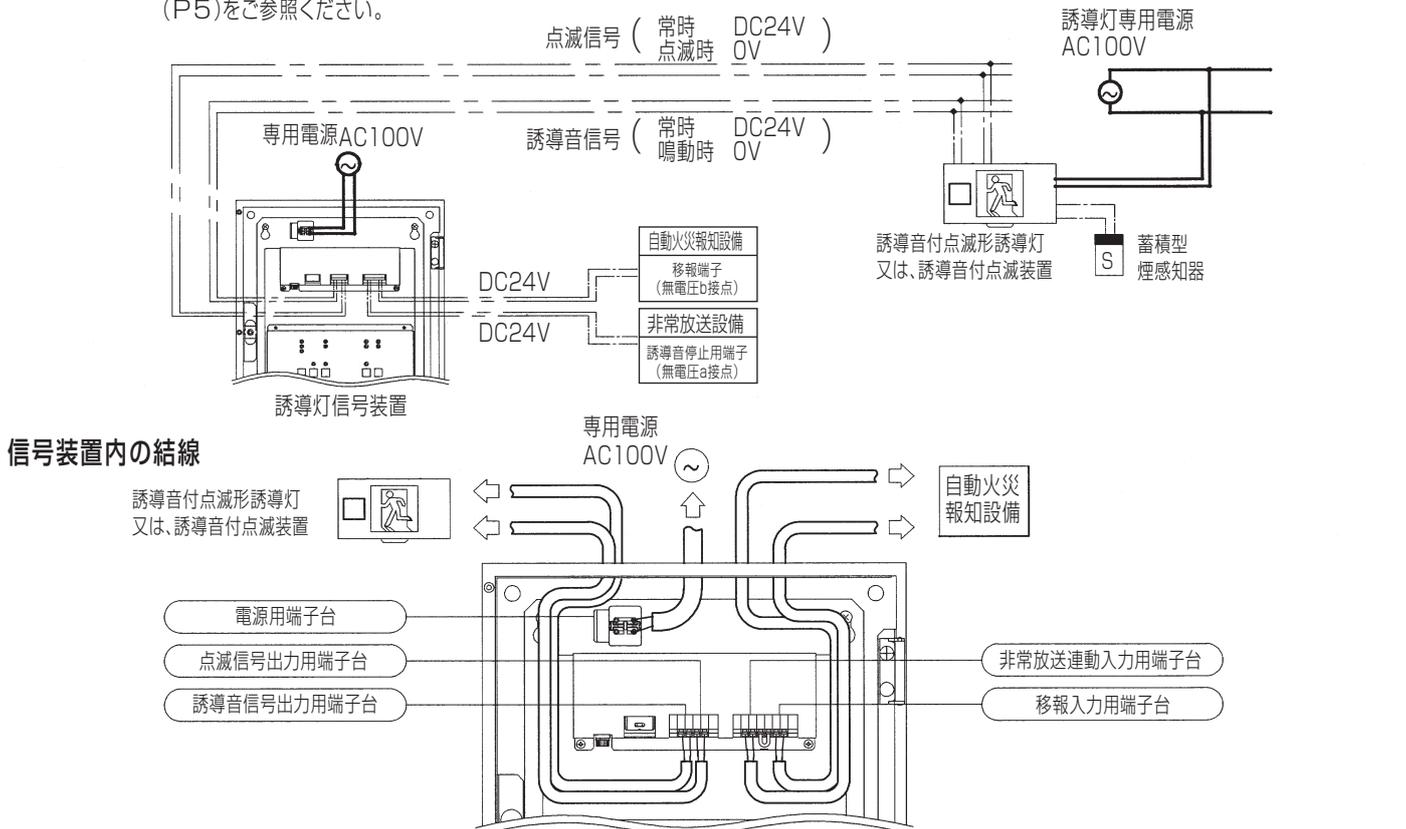
(3) 【点滅形誘導灯／点滅装置の結線】

※点滅形誘導灯を消灯させたい場合は、【誘導灯の消灯】(P5)をご参照ください。



(4) 【誘導音付点滅形誘導灯／誘導音付点滅装置の結線】 (非常放送連動させる場合の例)

※誘導音付点滅形誘導灯を消灯させたい場合は、【誘導灯の消灯】(P5)をご参照ください。



5. 安全に関するご注意

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 信号装置の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 信号装置に衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- 蓄電池を加熱したり、火や水に投入しない。破裂する危険があります。
- 蓄電池を分解しない。やけど・感電の原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 落下した蓄電池は使用せず、回収をリサイクル業者に依頼する。但し、落下した際にケースが破損した場合は、電極部と金属部分が接触しないよう電気絶縁用ビニルテープで絶縁し、各自治体のルールに従い、廃棄物として処理する。不備があるとショートによる破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

注意

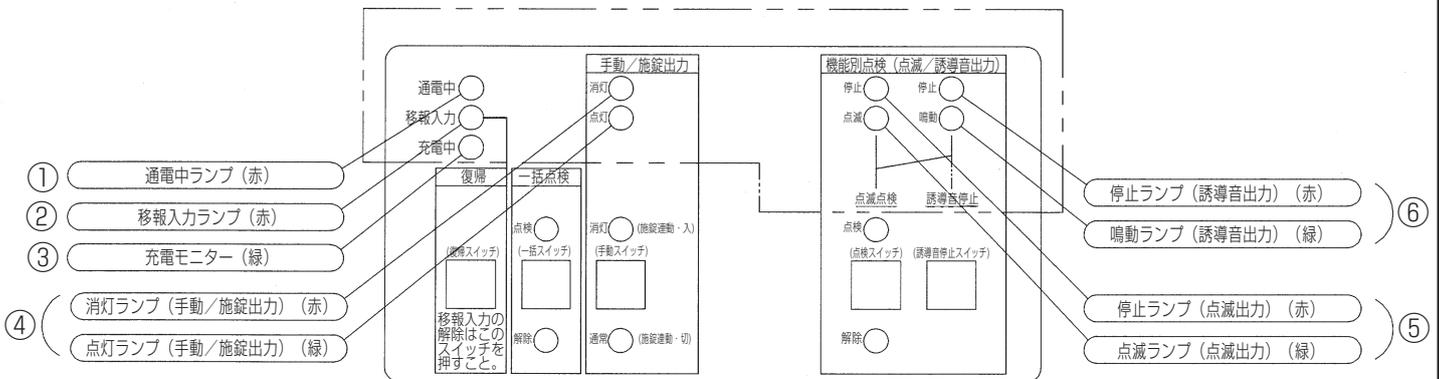
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 信号装置には寿命があります。(※1) 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 一年に一回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検を受けてください。必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。(チェックシート番号:CLX2021BA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- 長時間器具を使用しない場合は、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

※1 信号装置は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り換え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。使用条件は周囲温度30℃です。

6. 操作パネルのなまえと機能説明

●入出力信号表示ランプ

電源通電状態、移報信号入力状態、蓄電池の充電状態、各誘導灯の動作状態(信号出力状態)を表示するランプです。



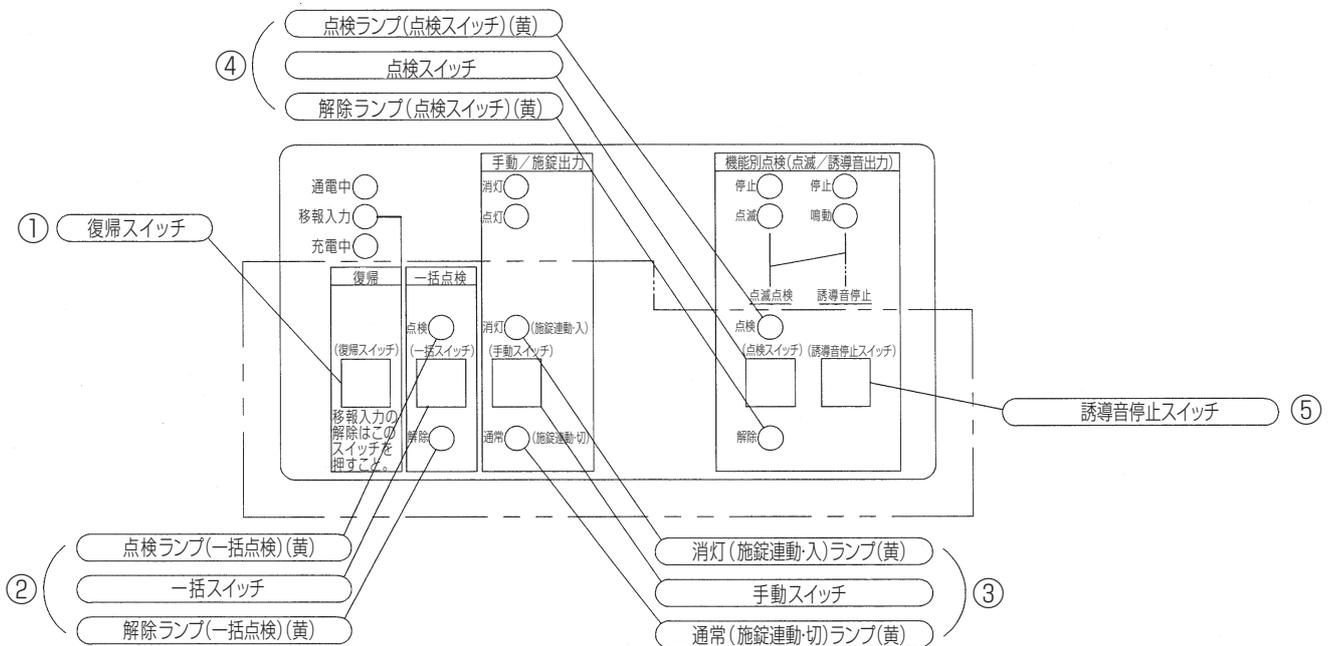
No	表示ランプ名称	表示ランプ点灯時の状態
①	通電中ランプ	信号装置に電源(AC100V)が通電されている状態を表します。 通電時:点灯
②	移報入力ランプ	自動火災報知設備からの移報信号の入力状態を表します。 点灯:移報入力状態 点滅:移報解除状態で信号装置が未復帰状態、電源投入時 消灯:通常時
③	充電モニター	信号装置に内蔵の蓄電池の充電状態を表します。 点灯:充電中 消灯:非充電状態(電池異常または停電時)
④	消灯ランプ(手動/施錠出力)	手動/施錠/照明連動などにより誘導灯が消灯しています。
	点灯ランプ(手動/施錠出力)	手動/施錠/照明連動などにより誘導灯が点灯しています。
⑤	停止ランプ(点滅出力)	点滅形誘導灯または点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯の点滅が停止しています。
	点滅ランプ(点滅出力)	点滅形誘導灯または点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯が点滅しています。
⑥	停止ランプ(誘導音出力)	誘導音付点滅形誘導灯の誘導音が停止しています。
	鳴動ランプ(誘導音出力)	誘導音付点滅形誘導灯の誘導音が鳴動しています。

6. 操作パネルのなまえと機能説明 (つづき)

●操作スイッチと動作状態表示ランプ

各操作スイッチと、そのスイッチの動作状態を表示するランプです。

※復帰スイッチと、誘導音停止スイッチ以外の各操作スイッチは、1秒以上の長押しが必要です。(誤操作防止機能)
詳細は下表をご参照ください。



No	スイッチと表示ランプ名称	スイッチの機能と表示ランプ点灯時の状態
①	復帰スイッチ	通常状態に復帰させます。(電源投入時および復旧時に操作します。) 移報入力ランプが点滅している場合に押してください。
②	一括スイッチ	全ての誘導灯を一括で動作させる場合に操作します。(1秒以上長押し)
	点検ランプ(一括点検) 解除ランプ(一括点検)	一括スイッチ操作により、信号装置は一括点検モードとなっています。 一括スイッチ操作により、信号装置は各誘導灯の通常設定モードとなっています。
③	手動スイッチ	手動で誘導灯の点灯/消灯の切替、又は施錠・照明連動により制御(点灯/消灯)する場合に操作します。(1秒長押し)
	消灯(施錠連動・入)ランプ 通常(施錠連動・切)ランプ	手動スイッチによる消灯モード、又は施錠・照明連動により制御(点灯/消灯)できるモードとなっています。 手動スイッチによる点灯モード、又は施錠・照明連動により制御(点灯/消灯)できないモードとなっています。
④	点検スイッチ	点滅形誘導灯または点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯の点滅および誘導音鳴動の切替点検を行なう場合に操作します。(1秒以上長押し)
	点検ランプ(点検スイッチ) 解除ランプ(点検スイッチ)	点検スイッチ操作により、信号装置は点滅および誘導音の動作モードとなっています。 点検スイッチ操作により、信号装置は点滅および誘導音の動作停止モードとなっています。
⑤	誘導音停止スイッチ	誘導音付点滅形誘導灯の誘導音鳴動を停止させる場合に操作します。スイッチを押している間だけのみ、誘導音鳴動が停止します。一括スイッチによる一括点検中および、点検スイッチによる点検中にのみ操作可能です。

※ 一括点検(一括スイッチ操作)および点滅・誘導音鳴動の切替点検(点検スイッチ操作)には、それぞれに自動復帰機能が付いております。点滅形誘導灯および点滅装置、誘導音付点滅形誘導灯に内蔵している蓄電池の未充電防止の為、万一、スイッチを戻し忘れた場合には、点検モードに移行してから約90分後に自動的に通常状態に戻ります。

7. ご使用方法

●ご使用の際は、まず下記の操作、確認を行ってください。

- ①「一括スイッチ」を押し、「解除ランプ(一括点検)(黄)」を点灯させる。
- ②「復帰スイッチ」を押し。
- ③各操作方法

ご使用方法	操作方法	点灯するランプ	誘導灯の状態
手動スイッチによる 消灯の場合	・「手動スイッチ」を押し、 「通常(施錠連動・切)(黄)」を 点灯させる	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 通常(施錠連動・切)(黄) 点灯ランプ(手動/施錠出力)(緑)	誘導灯は点灯
	・「手動スイッチ」を押し、 「消灯(施錠連動・入)(黄)」を 点灯させる	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 消灯(施錠連動・入)(黄) 消灯ランプ(手動/施錠出力)(赤)	誘導灯は消灯
施錠連動又は、照明連動 による消灯の場合	・「手動スイッチ」を押し、 「消灯(施錠連動・入)(黄)」を 点灯させる。 ・開錠時(照明点灯時)	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 消灯(施錠連動・入)(黄) 点灯ランプ(手動/施錠出力)(緑)	誘導灯は点灯
	・「手動スイッチ」を押し、 「消灯(施錠連動・入)(黄)」を 点灯させる。 ・施錠時(照明消灯時)	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 消灯(施錠連動・入)(黄) 消灯ランプ(手動/施錠出力)(赤)	誘導灯は消灯
点滅動作させる場合	・「点検スイッチ」を押し、 「解除ランプ(点検スイッチ)(黄)」を 点灯させる	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 解除ランプ(点検スイッチ)(黄) 停止ランプ(点滅出力)(赤)	点滅を停止
	・「点検スイッチ」を押し、 「点検ランプ(点検スイッチ)(黄)」を 点灯させる	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 点検ランプ(点検スイッチ)(黄) 点滅ランプ(点滅出力)(緑)	点滅を開始
誘導音動作させる場合	・「点検スイッチ」を押し、 「解除ランプ(点検スイッチ)(黄)」を 点灯させる	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 解除ランプ(点検スイッチ)(黄) 停止ランプ(誘導音出力)(赤)	誘導音を停止
	・「点検スイッチ」を押し、 「点検ランプ(点検スイッチ)(黄)」を 点灯させる	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 点検ランプ(点検スイッチ)(黄) 鳴動ランプ(誘導音出力)(緑)	誘導音を開始
非常放送と連動して 誘導音動作させる場合	誘導音動作中に ・「非常放送停止スイッチ」を押し 又は、自動火災報知設備より 誘導音停止信号が加わったとき (非常放送連動入力端子短絡等)	通電中ランプ(赤) 充電モニター(緑) 点滅ランプ(点滅出力)(緑) 停止ランプ(誘導音出力)(赤)	誘導音を停止

8. 使用上のご注意

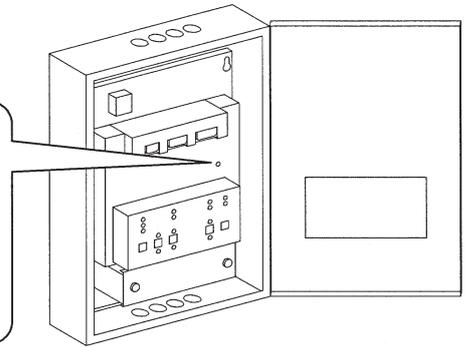
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は信号装置から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・蓄電池交換サイン付き信号装置です。内蔵する蓄電池の通電時間をタイマーでカウントし、交換時期の目安（約40,000時間）を緑色点滅でお知らせします。

(注) 交換時期のお知らせは、目安です。

蓄電池交換サインが点滅しなくても24時間以上充電し、20分以上停電補償を行なわない場合は蓄電池を交換してください。

蓄電池交換サイン

- 点灯: 通常 (充電中)
(通電時間4万時間未満)
- 点滅: 電池交換時期
(通電時間4万時間以上)
- 消灯: 異常
(電池異常またはコネクタ未接続)



9. 保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。蓄電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

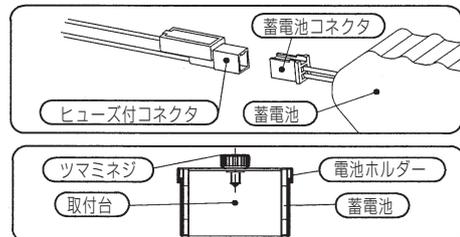
10. お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について……汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。器具に直接水をかけないでください。
- ・部品交換について……本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

交換部品	蓄電池	FK783 (12V 2000mAh) ×2
	ヒューズ	125V 5A

- ・蓄電池交換方法……下図を参照のうえ確実にこなってください。

- 扉を開ける。
- 蓄電池を交換する。
 - ・蓄電池コネクタを抜く。
 - ・ツマミネジと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
- 蓄電池を取付ける。
 - ・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
 - ・電池ホルダー、取付台でリード線をきずつけないこと。感電・火災の原因となります。
 - ・蓄電池コネクタを確実に差し込む。



11. 故障かな?と思ったときは

- ・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
1. 全く動かない 表示ランプが1個も点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源AC100Vが投入されていない。 ・電源にAC200Vが印加されている。 ・ヒューズ切れ。(各端子が短絡している) ・ヒューズホルダが緩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 配線をチェック後、電源 (AC100V) を投入する。 すぐに電源を切り、工事店に相談し、修理を行なう。 配線をチェック後、ヒューズを交換する。(125V、5A) ヒューズホルダを点検し、確実に取付ける。
2. スイッチを操作しても切替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチ操作が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> スイッチを1秒以上長押しする。
3. 誘導灯が消灯しない ※手動・施設・照明連動により誘導灯を消灯させる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・「復帰スイッチ」の押し忘れ。 (移報入力ランプが点滅している) ・自動火災報知設備から、火災信号が出ている。 (移報入力ランプが点灯している) ・移報入力端子がオープン状態になっている。 (移報入力ランプが点灯している) 	<ul style="list-style-type: none"> 「復帰スイッチ」を押す。(移報入力ランプは消灯) ※施工後、停電後、自動火災報知設備の復旧後は「復帰スイッチ」を押してください。 自動火災報知設備を復旧後「復帰スイッチ」を押す。 (移報入力ランプは消灯) 自動火災報知設備を設置前の場合は、移報入力端子は短絡させておく。

11. 故障かな?と思ったときは (つづき)

現 象	考えられる原因	処 置
3. 誘導灯が消灯しない ※手動・施錠・照明連動により 誘導灯を消灯させる場合	・一括点検モードとなっている。 (点検ランプ (一括点検) が点灯している)	一括スイッチを押し、通常設定モードにする。 (解除ランプ (一括点検) が点灯)
	【施錠連動/照明連動設定時】 施錠・照明入力用端子がオープン状態になっている。	施錠・照明連動させない場合は、施錠・照明入力用端子は短絡させておく。
	・誘導灯の故障・不具合。 ・信号出力線が断線している。	誘導灯を確認する。 誘導灯へつながらる配線をチェックする。
4. 誘導灯が点灯しない	【手動連動設定時】 手動スイッチ操作により消灯している。 (消灯 (施錠連動・入) ランプが点灯している)	手動スイッチを押し、点灯させる。 (通常 (施錠連動・切) ランプが点灯)
	【施錠連動/照明連動設定時】 施錠・照明入力端子がクローズ状態になっている。	施錠・照明入力端子の短絡線を外す。 連動させている扉、照明等の状態を確認する。
	・誘導灯の故障・不具合。 ・誘導灯へつながらる配線 (赤線) が断線している。	誘導灯を確認する。 誘導灯へつながらる配線 (赤線) をチェックする。
5. 点滅動作が止まらない (点滅形誘導灯、点滅装置) 誘導音鳴動が止まらない (誘導音付点滅形誘導灯) (誘導音付点滅装置)	・「復帰スイッチ」の押し忘れ。 (移報入力ランプが点滅している)	「復帰スイッチ」を押す。(移報入力ランプは消灯) ※施工後、停電後、自動火災報知設備の復旧後は 「復帰スイッチ」を押してください。
	・自動火災報知設備から、火災信号が出ている。 (移報入力ランプが点灯している)	自動火災報知設備を復旧後、「復帰スイッチ」を押す。 (移報入力ランプは消灯)
	・移報入力端子がオープン状態になっている。 (移報入力ランプが点灯している)	自動火災報知設備を設置前の場合は、移報入力端子は短絡させておく。
	・一括点検モードとなっている。 (点検ランプ (一括点検) が点灯している)	一括スイッチを押し、通常設定モードにする。 (解除ランプ (一括点検) が点灯)
	・点検スイッチ操作により点滅・鳴動している。 (点検ランプ (点検スイッチ) が点灯している)	点検スイッチを押し、停止させる。 (解除ランプ (点検スイッチ) が点灯)
	・誘導灯の故障・不具合。 ・信号出力線が断線している。	誘導灯を確認する。 誘導灯へつながらる配線をチェックする。
6. 点滅動作をしない 誘導音鳴動をしない	・誘導灯に内蔵のキセノン・音声用蓄電池の充電不足。 24時間以内に停電または、点検スイッチ操作を行なった。	24時間以上充電する。
	・誘導灯の故障・不具合。	誘導灯を確認する。
7. 非常放送連動しない	・信号線が断線している。	非常放送設備～自動火災報知設備～信号装置への配線を チェックする。
8. 充電モニターが消灯している 蓄電池交換サインが消灯している	・蓄電池コネクタが接続されていない。	蓄電池コネクタを接続する。
	・信号装置に内蔵の蓄電池の寿命。	蓄電池を交換する。
	・蓄電池コネクタのヒューズ切れ。	DC24V出力信号線が短絡していないことを確認し、 ヒューズを交換する。(125V、5A)

12. 保守・点検の要領

◆定期点検

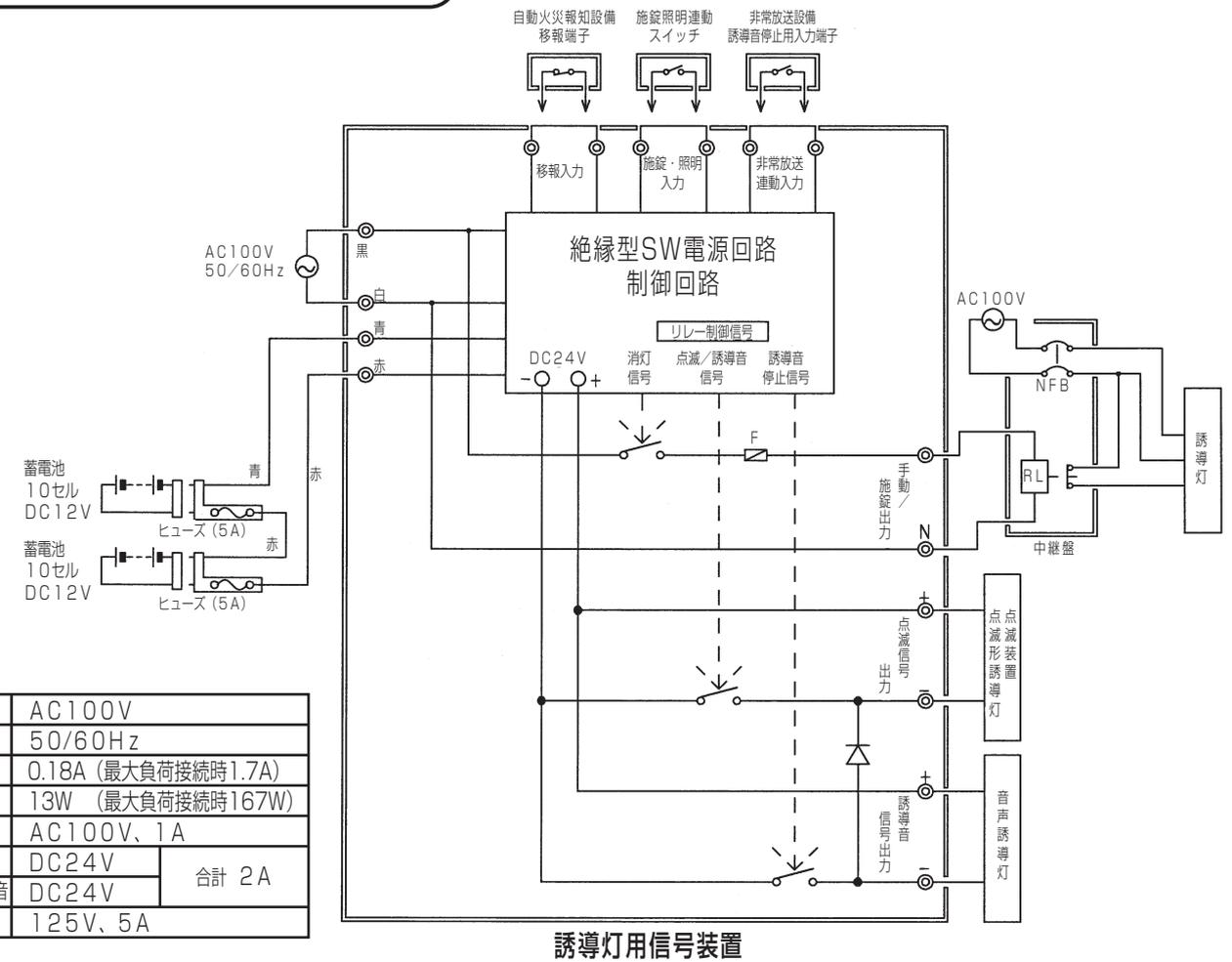
3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。6ヶ月に1回は、必ず下記の動作点検を行なってください。(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので、必ず実施ください。)

1. 移報入力による動作確認…………… 自動火災報知設備からの移報入力により、誘導灯が一齐に点灯・点滅・鳴動できるかどうか確認してください。
2. 一括スイッチによる動作確認…………… 一括スイッチにより一括点検時及び緊急時に、誘導灯が一齐に点灯・点滅・鳴動できるかどうか確認してください。
3. 手動スイッチによる動作確認…………… 手動スイッチにより点検時に、誘導灯が一齐に点灯できるかどうか確認してください。
4. 点検スイッチによる動作確認…………… 点検スイッチにより誘導灯の点滅動作及び誘導音鳴動が一齐に動作できるかどうか確認してください。
5. 誘導音停止スイッチによる動作確認…………… 誘導音停止スイッチにより誘導音鳴動が一齐に停止するかどうか確認してください。
6. 内蔵蓄電池による停電補償機能確認…………… 信号装置への電源の遮断により20分以上、誘導灯が点滅/誘導音鳴動しないことを確認してください。

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

13. 器具定格・基本内部回路図



器具定格

電源電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
入力電流	0.18A (最大負荷接続時1.7A)
入力電力	13W (最大負荷接続時167W)
信号回路	AC100V、1A
定格容量	消灯 DC24V 点滅 DC24V 誘導音 DC24V
ヒューズ定格	125V、5A
合計	2A

Ni-MH この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または“一般社団法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
 お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
 0120-187-441(フリーダイヤル) 【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
 0120-872-460(FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]